

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和7年度 第6号
令和7年11月25日発行
＜発行・編集＞
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL: 025-543-2729
FAX: 025-543-4150
E-mail: higashi-cs@jorne.or.jp

学校間授業研究交流会

直東学園では、小中学校9年間を見通した一貫した学びを念頭に置き、学力的な課題や授業改善の方向性を共有し、確かな学力を育成することを目指しています。具体的な取組で一番大事にしているのは授業力の向上です。各校でも教師としての資質能力、学校としての研究力を高めるために授業研究を行っていますが、学校間の授業研究交流会を実施することで、各校の研究や授業改善の取組について情報交換し自校の研究や自らの授業力に反映させることができます。

今年度は、春日新田小学校の「子どもが主体的に学ぶ授業づくり」支援訪問に中学校区の教員47名が参加して研修を行いました。

- ・期 日 令和7年6月13日（金）
- ・会 場 春日新田小学校
- ・内 容
 - ・全体会 13:00～13:20
 - ・研究授業参観 13:25～14:10
 - 4年2組 理科「電流のはたらき」
 - 6年2組 外国語科「Unit 2」
 - ・授業協議会 14:40～15:40
 - ・全体会 15:50～16:30

春日新田小学校は、今年度「ガツガツ学ぶ子が育つ学校～思いをもってかかわり、学びを作る～」を研究主題とし研究・研修しています。授業協議会・全体会では、市教委学校教育課指導主事、平井恵理様、鴨井淳一様からご指導をいただきました。参加者からは、授業中の子どもの姿からガツガツ学ぶ子の姿をとらえ、主体的に学ぶ子どもや授業づくりについて考えを深めました。小中学校の系統性を考えるうえで貴重な機会となりました。

4月に全国の小学6年生、中学3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果では、子どもと教師の関係性がよく、学校への信頼度も高いことが伺われました。学校教育の基盤ができていると考えます。小学生は「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に対し、中学生は「困りごとや不安があった時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できます」の質問に対し、県や全国と比較して高い結果でありました。小中連携して大切に育んできた財産です。今後も児童生徒一人一人とよりよい関係を築き、主体的な学びを育んでいきます。

北諏訪小学校の取組

重点目標の一つ「自分の考えを豊かに表現する子」をめざし、授業改善を目的とする公開授業と「書く」「読む」に特化した取組により、学力向上を図っています。「書く」「読む」の取組を下記に紹介します。

【書くタイム】昼の北諏訪タイムに実施

順番を考えた文、理由を説明する文、要約して書くなどテーマや内容を設定し、学年に応じて工夫して取り組んでいます。



昼休みの活動ですが、夢中で書き進めたり、話し合いが続いたりします。全校で同じ時間に実施し書く技量を高めています。

【読むタイム】昼の北諏訪タイムに実施

文章を自力で読む機会を確保し、読解力の向上を図ります。子どもはまず初見の文章を読み、答えを選択します。次にペアで理由や根拠を説明し合います。最後に教師の解説を聞きます。1回の活動は15分で終わりますが、定期的に自分の言葉で説明することを習慣付けることで、表現力や読解力の向上に結び付けています。



【自主学習の充実】家庭学習

「みんなの自学紹介」のコーナーでは、定期的に、工夫して学習しているもの、担任が紹介したいものを紹介し、自主学習への意欲を喚起させています。



保倉小学校の取組

「共に考え 動き出そう」を合言葉に

保倉小学校は「共に考え動き出す授業」をテーマに、教職員の授業力を高める研修や実践を重ねています。児童が主体的に学ぶ授業づくりのために、今年度からNIE事業を活用しています。

NIEとは、「Newspaper In Education（教育に新聞）」の略で、学校などで新聞を教材として活用することです。保倉小では、子どもたちが考えをもつための基盤となる『ことば＝語彙力』を付けるために、「NIEタイム」を朝活動に位置付け、活動を始めました。以下、取組の一例を紹介します。

★ことば探し

…言葉への関心を高め、言葉のまとまりを捉える力を付けるために、条件に合った言葉（習った漢字やカタカナ等）を新聞から探す活動を行いました。



★読み聞かせ…教師の範読を聞き、聞き取った内容と自己の体験を関連付けて感想を伝え合いました。友達の感想を聞くことで、新しい見方に気付くことができました。

★ことばの貯金箱…新聞記事から『心に響く素敵な言葉』を切り抜いて紙に貼りました。紹介し合う活動を通して、友達とコミュニケーションを楽しみました。



有田小学校の取組

本校では、「自分もみんなも大切にする子どもの育成」を研究主題に掲げ、日々の授業や活動に取り組んでいます。教師も児童も、「自分もみんなも大切にする姿」とはどのような姿かを共に考え、自分が考える姿に近付くことができるように意識をして活動을します。

○言葉でつながることを意識した授業づくり

今年度は、「言葉でつながる授業づくり」にスポットを当てて授業を組み立てています。「つながる」とはどのような姿なのかを具現化させていくことで、「子どもと共に言葉が変わる教職員集団」を目指しています。

授業公開では、教師と子どもとの関わりや、子どもたち同士の関わりを中心に参観をすることで、子どもたちの普段見ることがない姿や、友達と共同しながら課題の解決に向かう姿など、「自分もみんなも大切にする姿」を多く見付けることができました。



○みんなのしゃべり場

校内研修として、みんなのしゃべり場を設定しています。全職員が学級や日々の営みで実践していることの共有を目的としながら、それぞれの教職員が「言葉がつながる授業」について考えていることや不安、悩みなどを聴き合ったり、今後の活動の構想等を示して、相談し合ったりしています。



○スタディ&メディアコントロールウィーク

各学期に1回実施しています。望ましいメディア利用ができるように、親子でめあてを相談し、家庭での生活習慣を見直します。子どもたちがメディアとの付き合い方を見直し、適切な利用ができるようにしていきます。

春日新田小学校の取組

今年度は、「ガツガツ学ぶ子が育つ学校～思いをもってかかわり、学びをつくる～」を研究主題として校内研究を進めています。

○「かかわり方スキル」を活用した授業づくり

研究主題に迫るために、道徳や学級活動で、児童が「かかわり方スキル」を学ぶことで、協働的な学びの土台となる「良好な関係」を培うことができるようにしています。また、各教科でスキルを使った交流場面を設定したり、学校生活の中で使うようにしたりしながらスキルの定着を図っています。

○教員の授業力をUPする取組

ガツガツ学ぶ子が育つ学校を目指し、教員自身もガツガツ学び、ガツガツ授業づくりを行っています。今年度は、各学年1名程度が授業公開をし、その後、教員間の対話を重視した協議会を行うことで、全教員の授業力UPに取り組んでいます。



2年生公開授業と協議会の様子

また、期間を設定し、普段の授業の様子をペアで参観し合う授業交流会を実施しています。今年度は、1・2学期でペアを変えることで、より多くの授業参観と教員間の交流ができるようにしています。

○その他

各種テスト結果の分析、校内研究に関するミニ研修やカリキュラムマネジメント研修の実施、校外で行われる研修会への積極的な参加、子どもがガツガツ学んでいる授業の紹介等も、教員の授業力UPにつながっています。



直江津東中学校の取組

本年度、当校では昨年度までの取組のうち特に「認め合う」ことに照準を定めて、「互いに認め合う集団づくり」をキーワードとした教育活動を展開しています。

○認め合う集団づくり

昨年度に引き続き、よりよい人間関係をつくるために、生徒が主体となって活動する場面を意図的に設定しています。行事や学校生活の中で、気持ちをつなげたり、互いに認め合ったりする活動を通して、互いの信頼関係を深めることを目指しています。また、学校適応感を調べる「アセス」アンケートを継続して行い、一人一人の生徒の様子を見取りながら望ましい人間関係づくりに生かしています。

○対話のある授業づくり

ペア、小グループによる話し合い活動を通して、話し合いのスキルアップを図っています。

自分の考えをもち、仲間と意見を交わしながら、互いの意見の良さを見つけ合うことを目指しています。また、学習活動で互いに教え合いながら、理解を深め合えるようにしていきたいと考えています。



○主体的に学ぶ姿勢づくり

今年度は、研究主題を新たにし、教員全体で「目指す生徒の姿」を共有しました。これを受けて、各教科でも「目指す生徒の姿」を設定し、その姿を実現させるための具体的な取組を整理してまとめました。学期ごとに取組の成果を確認しながら、生徒が主体的に学ぶ授業づくりを進めていきます。

また授業だけでなく、昨年度同様、定期テストに向けての学習時間調査、メディア使用時間調査も行い、定期テストに向けて学習に力を入れる雰囲気づくりを継続していきます。

秋のあいさつ運動

ありがとうございました。

9月の「秋のあいさつ運動」のアンケート結果です。下記の質問には46名の方々から回答をいただきました。多くのご協力に感謝しております。

1 立哨中に会った大人の方とあいさつを交わしましたか

ア 交わした	40
イ 交わしたり交わさなかったりした	6
ウ 交わさなかった	0
無回答	0

2 立哨中に児童生徒に自分の方からあいさつをしましたか

ア 自分から先にした	31
イ 自分からしたり相手が先にしたりした	14
ウ 相手が先にした	1
無回答	0

3 期間中家庭内であいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	21
イ 自分からしたり相手が先にしたりした	21
ウ 相手が先にした	1
無回答	3

回答件数 46 件

いただいたアンケートの中から（抜粋）

- 春よりあいさつが良くなっている。
- 日を追うごとに子どもたちの方からもあいさつをしてくれるようになってきた。
- 子どもはもちろん地域の大人も挨拶をしていてよかった。
- 沢山の方があいさつをしてくれたおかげで、子どもたちはいつも以上に元気に登校していた。参加された全ての方に感謝。
- あいさつをする子もいるが、ほとんどの児童は会釈か無言の児童が多い。
- 大人があいさつしてもあいさつが返ってこないことが多い。
- みんながあいさつできると良い。声に出せない子は手を振る・笑う等反応してほしい。